



# 動詞の命令形「～なさい」

この課では「食べる」「歌え」「行け」など、聞き手に命令をする動詞の形(命令形)を学びます。

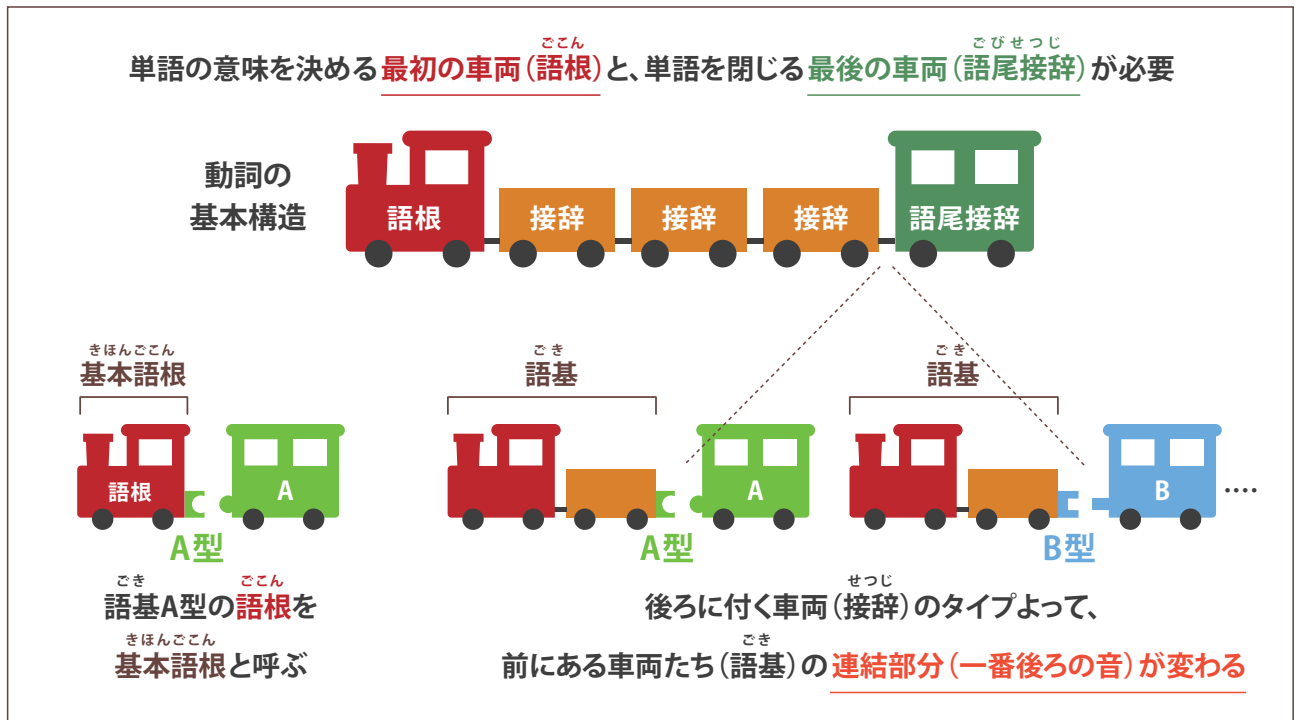
## ポイント

1. 動詞の命令形「～なさい」は、語基(A型)に、命令の語尾接辞-(r)iを付ける。
2. 母音で終わる語基には、-<sup>1</sup>riが付き、子音で終わる語基には -iが付く。

## 1 動詞の基本構造 (3-5「動詞の基本構造」参照)

動詞を列車にして説明します。動詞は、単語の意味を決める機関車(語根)に、様々な意味を持つ、付属の車両(接辞)がついて作られます。列車が走るためには、最初の機関車(語根)と、単語を閉じられる、最後の車両(語尾接辞)が必要です。

ある車両(接辞)の前にある車両全体を、その接辞に対する「語基」と呼びます<sup>2</sup>。後ろに付く車両(接辞)のタイプによって、前にある車両たち(語基)の連結部分(一番後ろの音)が変わります。このように、変化する語基のタイプには、**A型(基本形)**、**B型**、**C型**の3種類があります。語基A型の語根を「基本語根」と呼びます。



<sup>1</sup> -は接辞のマークです。

<sup>2</sup> 語根に直接、語尾接辞が接続する場合には、語基=語根になります。2以降の説明は、すべて語基=語根ですので、語基と語根を読みかえても大丈夫です。

## 2 命令形

命令の接辞(-ri)は、<sup>ごき</sup>語基A型に接続します。語基が母音で終わる場合には -ri を、語基が子音で終わる場合には -i を付けます。

例えば「呼ぶ」という動詞は、<sup>きほんごこん</sup>基本語根(語基A型)の **abi**<sup>3</sup> (母音終わり)に命令の接辞 **-ri** を付けて **abiri**「呼べ」となります。「待つ」という動詞は、<sup>きほんごこん</sup>基本語根の **mat** (子音終わり)に命令の接辞 **-i** を付けて **mati**「待て」となります。

	<sup>きほんごこん</sup> <sup>ごき</sup> 基本語根 (語基A型)		命令形
母音終わり	<b>abi</b> 「呼ぶ」	→	<b>abi-ri</b> 「呼べ」
	<b>kuri</b> 「くれる・あげる」	→	<b>kuri-ri</b> 「あげろ」
子音終わり	<b>hak</b> 「書く」	→	<b>hak-i</b> 「書け」
	<b>mat</b> 「待つ」	→	<b>mat-i</b> 「待て」

## 2 発音してみよう

命令形は、動詞の中でも一番シンプルな形を持った活用形の1つです。命令形と一緒に、<sup>いっしょ</sup>様々な動詞の<sup>きほんごこん</sup>基本語根も、少しずつ覚えていきましょう。

<b>abi - ri</b> 呼ぶ - 命令 「呼べ」	<b>nas - i</b> 産む - 命令 「産め」	<b>sin - i</b> 死ぬ - 命令 「死ね」	<b>hak - i</b> 書く - 命令 「書け」
<b>mat - i</b> 待つ - 命令 「待て」	<b>uig - i</b> 泳ぐ - 命令 「泳げ」	<b>kam - i</b> 食べる - 命令 「食べろ」	<b>asib - i</b> 遊ぶ - 命令 「遊べ」

<sup>ごこん</sup>3 語根だけの形を、ななめ文字で表します。語根だけでは単語は成り立ちません。

練習問題

(1)-(7) はそれぞれの動詞の<sup>きほんごこん</sup>基本語根です。

次の動詞の命令形を予想して書いてみましょう。

(1) *nibu* 「ねむる」 → ( ) 「ねむれ」

---

(2) *furus* 「殺す」 → ( ) 「殺せ」

---

(3) *ak* 「歩く」 → ( ) 「歩け」

---

(4) *tat* 「立つ」 → ( ) 「立て」

---

(5) *fuug* 「(船を)こぐ」 → ( ) 「(船を)こげ」

---

(6) *num* 「飲む」 → ( ) 「飲め」

---

(7) *tub* 「飛ぶ」 → ( ) 「飛べ」

---